

《当院におけるアトピー性皮膚炎診療の方針について》

この十年ほどでアトピー性皮膚炎に関する研究が進みました。

アトピー発症に最も強く関係があるのはドライスキンなど肌質の弱点であり、治療は以下の3本立てで行うことが重要であるとわかってきました。

- ① 膚の炎症を抑える外用療法
- ② 肌の状態に合わせたスキンケア
- ③ 個別の悪化因子対策

ステロイド外用薬を避けたいという患者様もいらっしゃいますが、**薬の特徴を知って正しい使用法をすれば、ステロイド外用薬の副作用の多くは回避可能**であり、全身への影響を出すことなく治療を進められることもわかっています。

そのため、現在当院では**アトピー性皮膚炎の診療ガイドラインに即して、必要な場合にはステロイド外用薬の使用も行っています。**



また、食事療法に関しても、明らかな悪化因子である場合を除いては、バランスよく食べることを指導しています。

初診は午後からのアレルギー予約外来に来ていただくことで、十分な時間を確保して、患者様やご家族の方の不安や疑問を詳しくお聞きし、皆さんに納得頂ける方法での治療を心がけています。

アトピー性皮膚炎でお悩みの方は、一度ご相談ください。

2013.5

小児科医長 日野 明日香